Kodak EasyShare
DX7590 ズームデジタルカメラ



ユーザーガイド

www.kodak.co.jp

対話型チュートリアル：www.kodak.co.jp

カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp

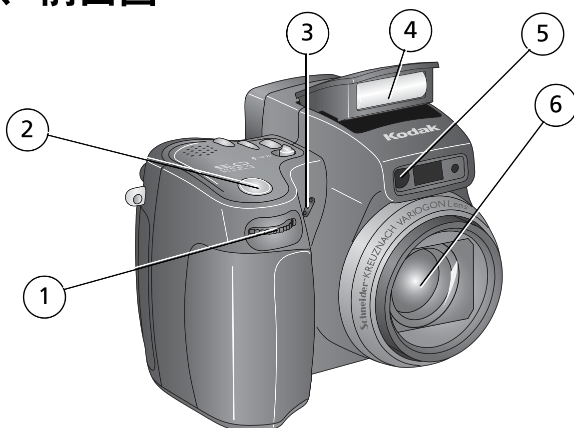


Eastman Kodak Company
343 State Street
Rochester, New York 14650

すべての画面はハメコミ式合成です。

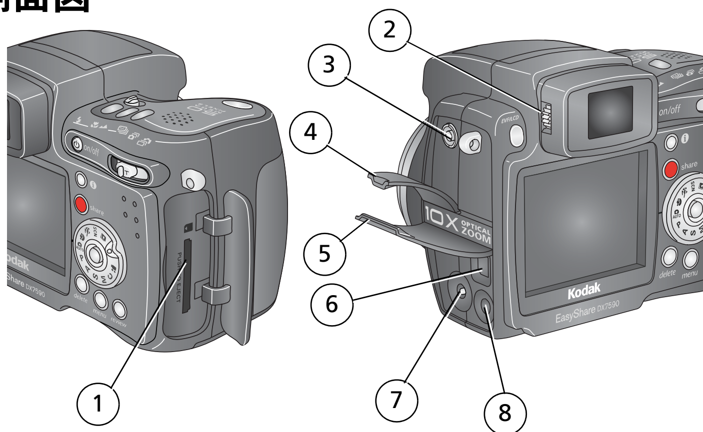
P/N 4J1301_ja

上面、前面図



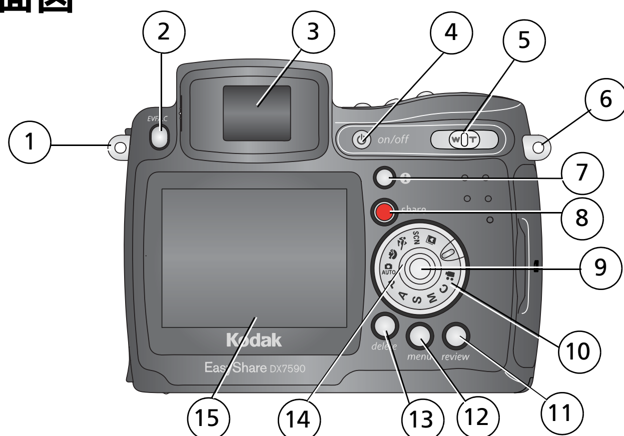
1 ジョグダイヤル
2 シャッターボタン
3 マイクロフォン
4 フリップアップ式フラッシュ
5 セルフタイマー／動画ライト
6 レンズ

側面図



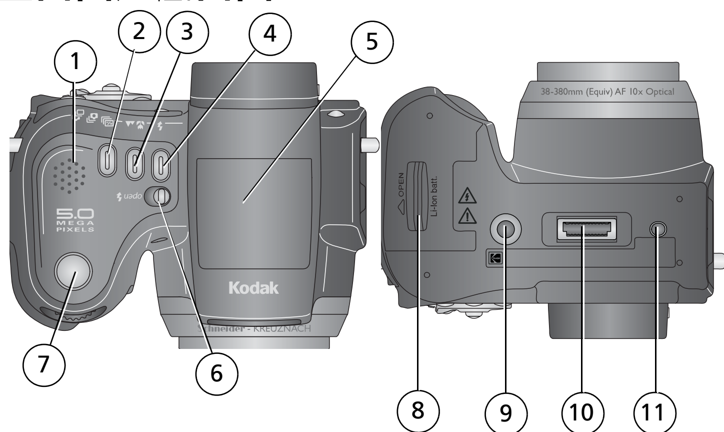
1 SD／MMC カードスロット
2 ジオプトリーダイヤル
3 外部フラッシュコネクタ
4 外部フラッシュコネクタカバー
5 USB ポート／DC 入力／A/V 出力カバー
6 USB ポート
7 DC 入力（5V）
8 A/V 出力（テレビでの表示用）

背面図



1 ネックストラップ取り付け部
2 EVF／LCD 切り替えボタン
3 EVF（電子ビューファインダー）
4 オン／オフボタン
5 ズーム（広角／望遠）
6 ネックストラップ取り付け部
7 ステータスボタン ⓘ
8 Share（シェア／共有）ボタン
9 ジョイスティック
（動かす◀/▶ ▲/▼）
OK ボタン（押す）
10 モードダイヤル
11 Review（再生）ボタン
12 Menu（メニュー）ボタン
13 Delete（削除）ボタン
14 電源リング
15 LCD 画面
（液晶ディスプレイ）

上面図／底面図



上部

1 スピーカー

2 測光ブラケティング／
連写（最初）／
連写（最後）ボタン

3 マクロ ／遠景ボタン

4 フラッシュボタン

5 フリップアップ式フラッシュ

6 オープン フラッシュ
スイッチ

7 シャッターボタン

底部

8 電池カバー

9 三脚ソケット／
EasyShare カメラドック
またはプリンタードックの
取り付け部

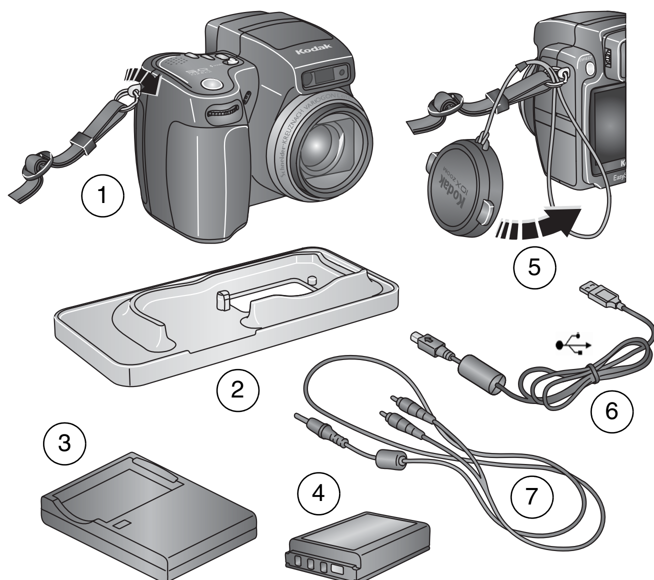
10 ドックコネクタ

11 EasyShare カメラドック
またはプリンタードックの
取り付け部

目次

1 はじめに

パッケージの内容



1	ネックストラップ付きのカメラ	5	ストラップ付きのレンズキャップ
2	専用ドックインサート（EasyShare カメラドックまたはプリンタードック用）	6	USB ケーブル
3	プラグ付きの充電器	7	オーディオ／ビデオケーブル（画像および動画のテレビでの表示用）
4	リチウムイオン充電式電池		

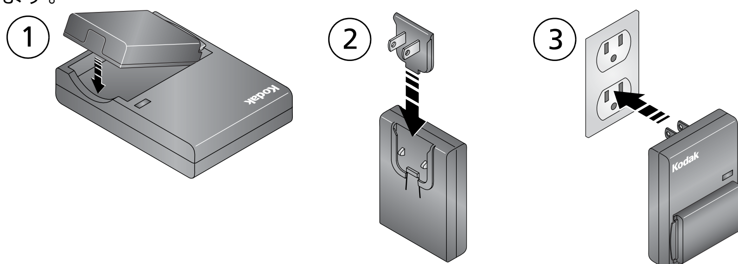
図示していないもの：ユーザーガイド、クイックスタート ガイド、Kodak EasyShare ソフトウェア CD。内容は予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアのインストール

重要： カメラ（またはドック）をコンピュータに接続する前に、Kodak EasyShareソフトウェアCDからソフトウェアをインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。『クイックスタートガイド』または「ソフトウェアのインストール」（52ページ）を参照してください。

電池の充電

リチウムイオン充電式電池は、初めて使用する前に充電する必要があります。



1 電池を充電器に取り付けます。

2 お使いの電気コンセントに合うプラグを取り付けます。

3 充電器をコンセントに差し込みます。

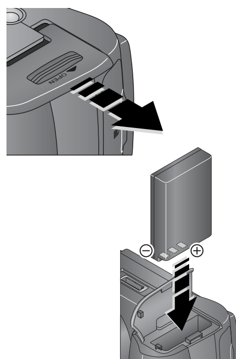
インジケータライトが赤色で点灯します。インジケータライトが緑に変わったら、電池を取り外して充電器のプラグを抜きます。充電は約3時間で完了します。

オプションのKodak EasyShareプリンタードックまたはカメラドックを使用して、電池を充電することもできます。これらの製品やその他のアクセサリーは、Kodak製品取扱店またはwww.kodak.co.jpでご確認ください。

電池の装着



注意：
Kodak EasyShare リチウム充電式電池以外の電池は使用しないでください。



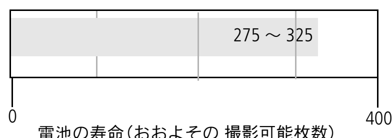
1 カメラがオフになっていることを確認してください。
2 カメラの底部にある電池カバーをスライドし、引き上げて開きます。
3 図に示すように電池を挿入します。電池を電池コンパートメントの中に完全に押し込みます。
4 電池カバーを閉じます。

電池に関する重要な情報

交換可能な電池の種類と電池の寿命

実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。

リチウムイオン充電式電池、
1700 mAh（KLIC 5001）
（カメラに付属）



Kodak EasyShare リチウム充電式電池以外の電池は使用しないでください。一部の製造会社の 3.7V リチウムイオン充電池は、このカメラとの互換性がありません。承認されていないアクセサリーの使用による損害は、保証の対象外となります。

オプションの電池：このカメラには、Kodak EasyShare リチウムイオン充電式電池 1050 mAh を使用できますが、電池の寿命は短くなります。カメラに付属している 1700 mAh 電池を使用する場合に比べ、撮影可能枚数は約 30% 少なくなります。

電池を長持ちさせる

- 次の操作を行うと電池が消耗するため、必要な場合以外はこれらの操作を行わないでください。
  - クイックビュー（13 ページ）を使用する
  - フラッシュを必要以上に使用する
  - LCD 画面を使用する（EVF 画面の使用を推奨）
- 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。
- 気温が 5 ℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。

次のアクセサリーについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare カメラドック — カメラへの電力の供給、コンピュータへの画像の転送、および電池の充電を行います。

Kodak EasyShare プリンタードック — カメラへの電力の供給を行います。コンピュータを使用した（または使用しない）10 × 15 cm のプリント、画像の転送、および電池の充電を行います。

Kodak 5V AC アダプター — カメラへの電力の供給を行います。

電池の安全な取り扱い

- 硬貨などの金属に電池が触れないようにします。金属に触れると、ショート、放電、または漏電が発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 充電池を廃棄する方法については、Rechargeable Battery Recycling Corporation の Web サイト（www.rbrc.com）を参照してください。

電池については、www.kodak.co.jp を参照してください。

カメラの電源のオンとオフ



- オン／オフボタンを押します。

  電源リングの点滅が止まったら、いつでも画像を撮影することができます。最後に表示した画面によって、EVF または LCD 画面のいずれかがオンになります。

- オン／オフボタンを押して カメラの電源をオフにしてください。

  実行中の操作がある場合はその操作が完了してからオフになります。

言語の設定

1 カメラの電源をオンにします。Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［設定メニュー］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［言語］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 ジョイスティック ▲/▼ を動かして、言語（英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、中国語（簡体）、韓国語、日本語）を選択します。

5 設定が完了したら OK ボタンを押します。

6 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

日付と時刻の設定

日付と時刻の初期設定

初めてカメラをオンにした場合や長期間にわたって電池を外していた場合は、「**日付／時刻がリセットされています**」というメッセージが表示されます。

1 ［日付／時刻の設定］がハイライト表示されます。OK ボタンを押します。

2 「2 回目以降の日付と時刻の設定」の手順 4 に進みます。

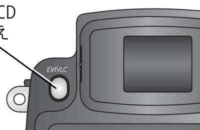
2回目以降の日付と時刻の設定

1 カメラの電源をオンにします。Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［設定メニュー］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［日付／時刻］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
4 ジョイスティック ▲/▼ を動かして日付と時刻を調整します。次の設定に進むにはジョイスティック ◀/▶ を動かします。
5 設定が完了したら OK ボタンを押します。
6 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

注： コンピュータのオペレーティングシステムによっては、カメラを接続したときに、Kodak EasyShare ソフトウェアを使用してカメラの時計を更新できる場合があります。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

EVF 画面と LCD 画面の切り替え

このカメラには、電子ビューファインダー（EVF）が装備されています。LCD（液晶ディスプレイ）画面と同様に、EVF 画面にはカメラで撮影した画像が表示されます。



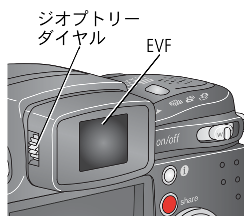
EVF 画面と LCD 画面の切り替えは、EVF／LCD 切り替えボタンで行います。

選択した画面は、次にボタンを押して切り替えるまで有効です。

注： EVF／LCD 画面は、1 分間撮影をしないと自動的にオフになります。オンに戻すには任意のボタンを押します。

ジオプトリーダイヤルの使用

EVF のシャープネスは、視野に合わせて調整することができます。



- EVF をのぞきます。
- ビューファインダーから見た画像がシャープになるまで、ジオプトリーダイヤルを回します。

カメラ設定／画像設定の確認

EVF ／ LCD 画面に表示されるアイコンは、現在有効なカメラ設定と画像設定を示します。



アイコンの表示／非表示を切り替えるにはステータス ボタンを押します。

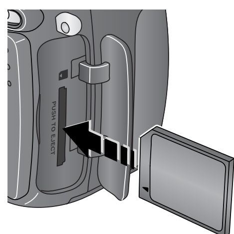
SD または MMC カードへの画像の保管

カメラには 32 MB の内蔵メモリーが搭載されています。SD カードは、取り外しおよび再利用可能で、画像や動画の保管場所として使用することができます。SD カードは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp をご確認ください。

注： Kodak 製の SD または MMC カードのご使用をお勧めします。その他の SD ブランドのカードを使用する場合は、カードに SD ロゴがあることを確認してください（SD ロゴは、SD Card Association の商標です）。初めてカードを使用する場合は、撮影する前にカードをフォーマットしてください（37 ページを参照）。

 **注意：**

このカードは、正しい向きで挿入する必要があります。無理に挿入すると、カメラやカードが破損する場合があります。緑色のレディライトが点滅しているときは、カードの挿入または取り外しを行わないでください。画像、カード、またはカメラが破損する場合があります。



1 カメラの電源をオフにして、カードカバーを開けます。
2 カードの向きをカメラの本体に記載された向きにします。
3 カードをスロットに完全に押し込みます。
4 カバーを閉じます。

カードを取り外すには、カメラの電源をオフにします。カードを押し込んで一度指を離します。カードの一部が出てきたら引き出します。

保管可能容量については、77 ページを参照してください。

2 画像と動画の撮影

画像の撮影

お気に入りモードを除く、レビュー、シェア、設定の各モードでは、いつでも画像を撮影できます（動画モードでは、動画を撮影）。

1 オン／オフボタンを押します。

2 モードダイヤルを回して目的の設定の位置にします。

注： 通常の撮影には、オート を使用します（その他のモードのオプションについては、15 ページを参照してください）。

3 **EVF または LCD** 画面を使用して、被写体をとらえます（EVF 画面と LCD 画面の切り替えは、EVF ／ LCD 切り替えボタンで行います。6 ページを参照）。

EVF ／ LCD 画面にモードテキストとライブ画像が表示されます。

注： フラッシュ撮影を行うには、フリップアップ式フラッシュを開きます（22 ページを参照）。フラッシュユニットを開く必要がある場合は、EVF ／ LCD 画面にフラッシュの使用警告が表示されます。

フラッシュの使用警告



4 シャッターボタンを**半分押した状態**で、オートフォーカス（AF）と自動露出（AE）を合わせます。

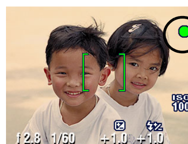
AF ／ AE インジケータが表示されます。フォーカスまたは露出が適正でない場合は、画像の構図を決め直します。

5 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

EVF 画面

LCD 画面





AF ／ AE インジケータ

AF ／ AE インジケータ
- 緑－適正
- 赤－不適正
- AF 不適正なフォーカス
- AE 不適正な露出

オートフォーカスフレーミングマークの使用

カメラの EVF ／ LCD 画面をビューファインダーとして使用している場合は、カメラの焦点が合っている場所を示すフレーミングマークが表示されます。カメラは、最高の画質を得るために、前にある被写体に焦点を合わせます。被写体がシーンの中心にない場合も同じです。

1 シャッターボタンを**半分押した状態**にします。

焦点が合うとフレーミングマークが青色から緑色に変わります。

次の位置で焦点をあわせることができます。	
フレーミング マーク	中央
	中央広域
	右／左
	中央右／左
	左右 2ヶ所

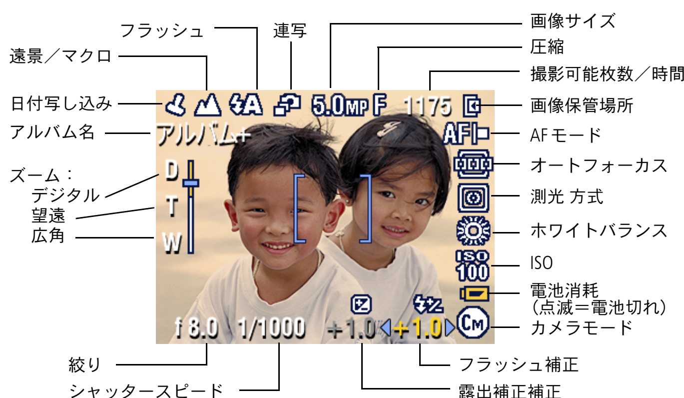
2 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合（またはフレーミングマークが消えている場合）は、シャッターボタンを離し、再度シーンの構図を決めます。

3 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

注： フレーミングマークは遠景または動画モードでは表示されません。オートフォーカス（32 ページ）を使用して中央合わせを行うと、フレーミングマークは中央広域に固定されます。

撮影モード

現在有効なカメラの設定のみが表示されます。



撮影モード－シャッターボタンを半分押した状態

シャッターボタンを半分押した状態にすると、有効なマニュアル設定が表示されます。



動画の撮影

注： 光学ズームは、動画を録画する前に変更できますが、録画中には変更できません。

1 モードダイヤルを回して動画 の位置にします。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。ジョイスティック ▲/▼ を動かして［動画サイズ］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして目的のサイズをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 録画中のノイズを低減させるには、コンティニュアス AF をオフにします （33 ページを参照）。

5 EVF または LCD 画面を使用して、被写体をとらえます （EVF 画面と LCD 画面の切り替えは、EVF ／ LCD 切り替えボタンで行います。6 ページを参照）。

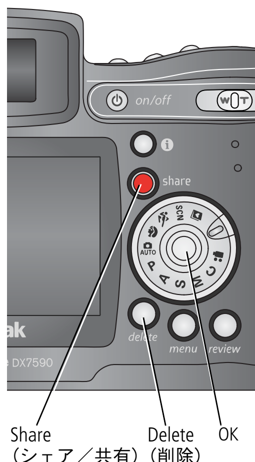
6 シャッターボタンを完全に押し下げてから離します。録画を停止するには、シャッターボタンをもう一度押して離します。

録画中の画面では、［撮影中］という表示が点滅し、経過時間が表示されます。

注： シャッターボタンを完全に押し下げ、2 秒以上押したままにして録画を開始することもできます。録画を停止するには、シャッターボタンを離します。画像保管場所がいっぱいになった場合にも録画が停止します。動画の保管可能容量については、78 ページを参照してください。

クイックビュー－撮影した画像または動画のレビュー

画像または動画を撮影した後に、EVF または LCD 画面にクイックビューが約 5 秒間表示されます。画像または動画が表示されている間は、次の操作を行うことができます。



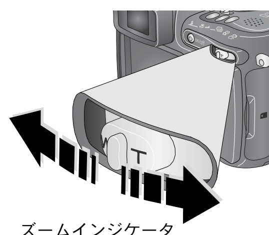
- **レビュー：**何も操作を行わない場合は、画像または動画が保存されます。
- **再生（動画）：**OK ボタンを押すと動画が再生されます。ジョイスティック ▲/▼ を動かして音量を調整します。再度 OK ボタンを押して動画を一時停止します。
- **シェア：**画像または動画の E メール送信（56 ページを参照）、お気に入りへの追加、またはプリントの指定（タグ付け）を行うには Share ボタンを押します（55 ページを参照）。
- **Delete（削除）：**画像または動画と 🗑 が表示されているときに Delete（削除）ボタンを押します。

注： 測光ブラケティング（27 ページを参照）または連写の場合（28 ページを参照）、クイックビューには最後の画像のみが表示されます。Delete（削除）ボタンを押すと、連写した一連の画像がすべて消去されます。画像を選択して消去するには、レビューモード（45 ページを参照）で消去します。

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、被写体を 10 倍まで拡大できます。光学ズームは、レンズと被写体との距離が 0.6 m 以上離れている場合に効果的です（撮影のヒントについては、39 ページを参照）。光学ズームは、動画を録画する前に変更できますが、録画中には変更できません。

重要： 高倍率のズームを使用する場合は、平らな場所または三脚の上にカメラを置いてください。



1 EVF または LCD 画面を使用して、被写体をとらえます

2 拡大するにはズームボタンを望遠（T）方向に動かします。縮小するには広角（W）方向に動かします。

   EVF または LCD 画面にズームされた画像とズームインジケータが表示されます。

3 シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点をあわせます。その後で**完全に押し下げて**撮影します（動画を撮影する場合は、シャッターボタンを押して離します）。

高度なデジタルズームの使用

高度なデジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームよりさらに 3 倍まで拡大することができます。使用可能な設定は、12 ～ 30 倍です。

重要： 高倍率のズームを使用する場合は、平らな場所または三脚の上にカメラを置いてください。

1 ズームボタンを押して、望遠光学ズームの限度（10 倍）まで拡大します。ボタンを離してからもう一度押します。

   EVF または LCD 画面にズームされた画像とズームインジケータが表示されます。

2 シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点をあわせます。その後で**完全に押し下げて**撮影します。

注： デジタルズームは動画の録画には使用できません。

重要： デジタルズームを使用すると、プリントしたときの画質が低下する場合があります。画像サイズが約 1 MP になるとズームインジケータ上の青色のスライダが一時停止し、次に赤色に変わります。10 × 15 cm のプリントで適切な画質を得るには、スライダが青色になっていることを確認してください。

撮影モード



モードダイヤル

被写体と撮影条件に合う
モードを選択します。

使用するモード	モードの説明
オート	通常の撮影に使用し、簡単な操作で優れた画質を実現できます。
P **プログラム**	露出補正（カメラに取り込む光の量）とフラッシュ補正を制御します。シャッタースピードと絞り（F ストップ）は、シーンのライティング条件に応じて自動的に設定されます。プログラムモードを使用すると、すべてのメニューオプションを利用したオート撮影を簡単に行うことができます。ジョグダイヤルを使用して設定を選択します（「P、A、S、M、C モード」（19 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
A **絞り優先**	絞り、露出補正、フラッシュ補正、および ISO スピードを制御します。絞り優先モードは主に、フィールドの色深度（シャープネスの範囲）を制御する場合に使用します。 注：光学ズームの使用時は、絞り設定に影響を及ぼす場合があります。ジョグダイヤルを使用して設定を選択します（「P、A、S、M、C モード」（19 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。

使用するモード		モードの説明
S	シャッター優先	シャッタースピード、露出補正、フラッシュ補正、およびISOスピードを制御します。適切な露出に対する絞りが自動的に設定されます。シャッター優先モードは主に、動きのある被写体の撮影時にぼけるのを防ぐために使用します。シャッタースピードが遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。ジョグダイヤルを使用して設定を選択します（「P、A、S、M、C モード」（19 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
M	マニュアル	最高レベルでクリエイティブに制御できます。絞り、フラッシュ補正、シャッタースピード、およびISOスピードを任意に設定可能です。露出補正は、適切な露出を実現するために必要な絞りとシャッタースピードの組み合わせを示す、露出メーターの役目を果たします。シャッタースピードが遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。ジョグダイヤルを使用して設定を選択します（「P、A、S、M、C モード」（19 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
C	カスタム	「ユーザー設定」モードです。P、A、S、M の各モードに加えて、その他のカメラ設定とは別に保存されているカスタム設定（露出補正、フラッシュ補正、ISO スピード）が適用されます。ジョグダイヤルを使用して設定を選択します（「P、A、S、M、C モード」（19 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押して撮影モードを選択します（「カスタム露出モード」（29 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
	動画	音声付きの動画を撮影できます（12 ページを参照）。
	お気に入り	お気に入りを表示します （57 ページを参照）。

使用するモード	モードの説明
SCN シーン	14 種類の特定の条件での撮影時に、ポイントアンドシュートの簡単操作を実現します （「シーンモード」（17 ページ） を参照）。
スポーツ	動きのある被写体に適しています。速いシャッター速度が使用されます。このモードでは、f/2.8 ～ f/3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO100 ～ ISO 200 があらかじめ設定されています。
ポートレート	人物の撮影に適しています。被写体がシャープになり、背景がぼんやりします。最高の画質を得るためには、被写体から 2 m 以上離れて、肩より上の部分を撮影します。望遠を使用するとさらに背景がぼんやりします。このモードでは、f/2.8 ～ f/3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO 100 があらかじめ設定されています。

シーンモード

1 モードダイヤルを回してシーン SCN の位置にします。

2 ジョイスティック ◀/▶ ▲/▼ を動かしてシーンモードの説明を表示します。

注： 画面がオフになっている場合は、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを押して、シーンモードを選択します。

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	マクロ	70 cm 未満の接写に適しています。	f/2.8 ～ f/3.7、マクロフォーカス、中央重点測光、センター AF、ISO 100
	遠景	遠距離の風景の撮影に適しています。フラッシュは点灯しません。遠景ではオートフォーカスフレーミングマーク（10 ページ）は使用できません。	f/2.8 ～ f/3.7、無限遠フォーカス、マルチ測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	夜景ポートレート	夜景または光の弱い状態での人物の撮影時に赤目を軽減します。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	f/2.8 ～ f/3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO 140
	夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	f/2.8 ～ f/3.7、無限遠フォーカス、昼光ホワイトバランス、中央重点測光、ISO 100
	スノー	雪景色の撮影に適しています。	f/2.8 ～ f/3.7、露出補正 +1、中央重点測光、マルチ AF、ISO 100
	ビーチ	砂浜での撮影に適しています。	f/2.8 ～ f/3.7、露出補正 +1、中央重点測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100
	書類	書類の撮影に適しています。	f/2.8 ～ f/3.7、マクロフォーカス、露出補正 +1、中央重点測光、ISO 140
	花火	フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	f/5.6、露出 2 秒、無限遠フォーカス、中央重点測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100
	フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。	f/2.8 ～ f/3.7、マクロフォーカス、昼光ホワイトバランス、センター AF、中央重点測光、ISO 140

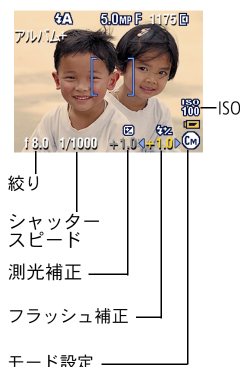
使用するSCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	ミュート/フラッシュ禁止	結婚式や講義など、静かな場所での使用に適しています。フラッシュと音声は使用できません。	f/2.8～f/3.7、音声なし、フラッシュなし、マルチ測光、マルチAF、ISO 100
	セルフポートレート	自分自身のクロースアップ撮影に適しています。焦点を適切に合わせ、赤目を軽減します。	f/2.8、マクロフォーカス、マルチ測光、マルチAF、赤目軽減発光、ISO 100
	パーティー	室内での人物の撮影に適しています。赤目を軽減します。	f/2.8～f/3.7、マルチ測光、マルチAF、赤目軽減発光、ISO 140
	チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。	f/2.8～f/3.7、マルチ測光、マルチAF、ISO 140
	逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状態）での撮影に適しています。	f/2.8～f/3.7、マルチ測光、マルチAF、強制発光、ISO 140

P、A、S、M、Cモード

P、A、S、Mモードで変更された設定は、それらのモードのいずれかで撮影された画像にのみ適用されます。Cモードで変更された設定はCモードで撮影された画像にのみ適用されます。

たとえば、P、A、S、Mモードでカラーモードをセピアに変更しても、オートおよびシーンモードではデフォルトのカラー設定が維持されます。

注： P、A、S、Mモードのフラッシュなどの設定は、モードを変更したりカメラの電源をオフにしても、維持されます。P、A、S、M、Cモードの設定をデフォルトにリセットするには、[デフォルトにリセット]を使用します（34ページを参照）。



絞り —（またはFストップ）フィールドの深度を決定するレンズ開口部のサイズを制御します。f/2.8などの小さいF値は、レンズ開口部が大きいことを示します。f/8などの大きいF値は、レンズ開口部が小さいことを示します。

F値を大きくすると、被写体全体がシャープになります。風景や明るい場所での撮影に適しています。小さいF値は、ポートレートや暗い場所での撮影に適しています。絞り値を最高または最低にして光学ズームを使用すると、何らかの影響を受ける場合があります。

シャッタースピード — シャッターを開いたままにしておく時間を制御します。手ぶれを示すアイコンはシャッタースピードが遅いことを警告するものです（シャッタースピードが遅い場合は三脚を使用してください）。

露出補正 — 露出を手動で調整できます。逆光での撮影や標準以外のシーンの撮影に適しています。画像が明るすぎる場合は設定値を低く、暗すぎる場合は設定値を高くしてください。

フラッシュ補正 — フラッシュの明るさを制御します（+0.5、+1.0、-0.5、-1.0)。フラッシュの範囲内で設定してください。フラッシュ設定がオフの場合は無効です。

ISO — カメラセンサーの感度を制御します（80、100、200、400、800)。設定が高いほど光に対する感度も高くなりますが、画像に「ノイズ」が発生する場合があります。1.8 MP画像サイズ設定を使用している場合はISO 800のみ有効です（**「画像サイズ」**（30ページ）を参照)。

撮影のヒントについては、39ページを参照してください。

ジョグダイヤルを使用したP、A、S、M、Cモード設定の変更

ジョグダイヤルを使用して、F値、シャッタースピード、露出、フラッシュ補正、ISOを制御します。その他の設定はMenu（メニュー）ボタンで制御します。



1 モードダイヤルを回してP、A、S、M、またはCの位置にします。

モードオプションが表示されます。

2 ジョグダイヤルを使用します。

- ジョグダイヤルを回して選択可能な設定にカーソル +1.0 を動かします。
- ジョグダイヤルを押して設定を開きます。
- ジョグダイヤルを回して設定 +1.0 を変更します。
- ジョグダイヤルを押して設定を保存します。

3 Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します（29ページを参照）。

4 画像を撮影します。

フリップアップ式フラッシュの使用

夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使います。フラッシュの設定は、連写以外のほとんどの静止画モードで変更できます。モードを切り替えたりカメラをオフにしたりすると、デフォルト設定に戻ります。

フラッシュをオンにする

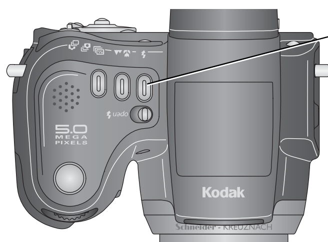


オープン ⚡ スイッチ

オープンフラッシュスイッチをスライドさせ、フラッシュを開いてオンにします。

注：フラッシュユニットが開いていないとフラッシュを使用したりフラッシュモードを変更することはできません。フラッシュユニットを開く必要がある場合は、EVF ／ LCD 画面にフラッシュの使用警告が表示されます。

フラッシュ設定の変更



⚡ ボタン

フラッシュモードをスクロールするには、フラッシュボタンを繰り返し押します（フラッシュモードの表を参照）。

注：現在有効なフラッシュアイコンは、EVF ／ LCD 画面のステータス領域に表示されます。

フラッシュ有効範囲	
ズームの位置	**フラッシュ範囲**
広角	0.6 〜 4.9 m（ISO 140）
望遠	2.0 〜 3.7 m（ISO 140）

フラッシュアイコンの状態	原因	操作
点滅	発光準備中	そのままお待ちください。アイコンの点滅が止まったら、撮影してください。
	フラッシュボタンが押されましたが、フラッシュユニットが閉じています。	フラッシュユニットを開くかフラッシュを使用せずに撮影してください。

フラッシュモード	フラッシュの点灯
オート	フラッシュが必要なライティング条件の場合に自動的に点灯します。
強制発光	ライティング条件に関係なく、撮影するたびに必ず点灯します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（太陽が被写体の後ろにある場合）に使用します。光の弱い場所では、カメラをしっかり構えるか、三脚を使用します。撮影のヒントについては、39 ページを参照してください。
赤目軽減発光	被写体の目がフラッシュに慣れるように一度点灯し、撮影時にもう一度点灯します（赤目軽減が不要な場合は、フラッシュが一度しか点灯しないことがあります）。
オフ	点灯しません。

注： **シャッタースピードの設定が 1/30 以上の場合、フラッシュが発光すると自動的に後幕シンクロ**がオンになります。シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光するため、背景に光の軌跡が生じ、被写体の動きを自然にとらえることができます。この機能は、S、M、C モードと夜景ポートレートモードでのみ使用できます。

各モードでのフラッシュの設定

フラッシュは撮影モードに応じてあらかじめ設定されています。

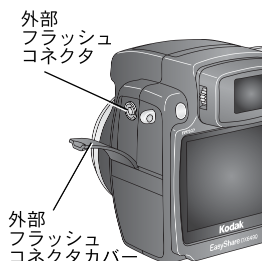
撮影モード		デフォルトの設定	使用可能な設定
	オート	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	ポートレート	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	スポーツ	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
P、A、S、M、C	**P、A、S、M、C**	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
SCN	**シーンモード**		
	マクロ	オフ	オート、オフ、強制発光
	遠景	オフ	オフ
	夜景ポートレート	赤目軽減発光 *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	夜景	オフ	オフ
	スノー	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	ビーチ	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	書類	オフ	オート、オフ
	花火	オフ	オフ
	フラワー	オフ	オート、オフ、強制発光
	ミュート/フラッシュ禁止	オフ	オフ
	セルフポートレート	赤目軽減発光 *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光

撮影モード		デフォルトの設定	使用可能な設定
	パーティー	赤目軽減発光 *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	チャイルド	オート *	オート、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	逆光	強制発光	強制発光
	動画	オフ	オフ
	連写（最初）	オフ	オフ
	連写（最後）	オフ	オフ
	測光ブラケティング	オフ	オフ

* これらのモードでオートまたは赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまでデフォルト設定になります。

外部フラッシュユニットの使用

明るさを追加する場合や特殊なライティングをする場合は、外部フラッシュユニットを使用します。カメラ内蔵のフラッシュを強制発光させて、同時に使用することもできます。



1 カメラとフラッシュユニットの電源をオフにします。

2 外部フラッシュコネクタカバーを開きます。

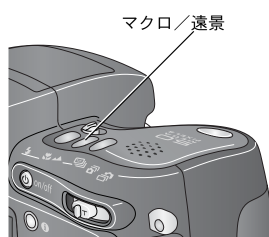
3 外部フラッシュユニットケーブルをカメラの外部フラッシュコネクタに接続します。

外部フラッシュユニットは、接続するとカメラに連動します。そのため、すべてのシャッタースピードに同期します。詳しくは、外部フラッシュユニットの取扱説明書を参照してください。

注： このカメラの外部フラッシュコネクタは、最大許容電圧を 500V とするすべての標準外部フラッシュケーブルを使用できます。

マクロ／遠景撮影

被写体との距離が非常に近い場合または遠い場合は、マクロ／遠景ボタン / を使用して撮影します（シーンモードでは使用できません）。



1 モードダイヤルを回して使用する撮影モードの位置にします。
2 ステータスバーに または アイコンが表示されるまで、マクロ／遠景 / ボタンを押し続けます。
3 画像を撮影します。

マクロ画像

非常に近い距離にある被写体を、詳細までシャープに撮影する場合は、マクロ設定 を使用します。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。ズームの位置に応じて撮影距離が自動的に設定されます。

ズームの位置	マクロ撮影範囲
広角	0.12 ～ 0.7 cm
望遠	1.2 ～ 2.1 m

撮影のヒントについては、39 ページを参照してください。

遠景画像

遠い距離の風景を、最大限にシャープに撮影する場合は、遠景設定 を使用します。この設定の場合は、無限遠オートフォーカスが使用されます。遠景ではオートフォーカスフレーミングマーク（10 ページを参照）は使用できません。

測光ブラケティングの使用

オプション	説明	目的
測光ブラケティング	3 枚の画像（測光値 +、0、および -）が撮影されます。	3 枚の画像を比較して最も適切な測光レベルを決定します。

1 測光ブラケティング間隔を設定します （「**測光ブラケティング間隔**」(31 ページ）を参照）。

2 ほとんどの静止画モードでは、測光ブラケティングボタンを繰り返し押してを選択します。

3 シャッターボタンを**半分押した状態**で、オートフォーカスと露出を合わせます。

4 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

3 枚の画像が撮影されます。撮影した画像を比較するには Review ボタンを押します。撮影が終わると測光ブラケティングはオフになります。

測光ブラケティングによる露出補正の使用

P、A、S モードでは、露出補正と測光ブラケティングを組み合わせて使用できます。

露出補正の設定値	測光ブラケティング間隔の設定値	使用される露出
0.0	デフォルト +/-0.3	-0.3、0.0、+0.3
+1.0		+0.7、+1.0、+1.3
-1.0		-1.3、-1.0、-0.7

連写の使用

オプション	説明	目的
最初の連写	シャッターボタンが押されている間に最大 5 枚（1 秒あたり 2 枚）の画像が撮影されます。 最初の 5 枚の画像が保存されます。	対象のイベントを撮影します。 **例：** 人物がゴルフクラブをスイングするところ。
最後の連写	シャッターボタンが押されている間に最大 30 枚（1 秒あたり 2 枚、最大 15 秒間）の画像が撮影されます。シャッターボタンを離すと、最後に撮影された 4 枚だけが保存されます。 最後の 4 枚の画像が保存されます。	正確なタイミングを捉えづらいイベントの場合に使用します。 **例：** 子供がバースデーケーキのロウソクを吹き消すところ。

1 ほとんどの静止画モードでは、連写ボタンを繰り返し押してオプションを選択します。

2 シャッターボタンを**半分押した状態**で、オートフォーカスと露出を合わせます。

3 シャッターボタンを**完全に押し下げたままにして**撮影します。

シャッターボタンを離すか、制限枚数の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。

注： 連写中は EVF ／ LCD 画面が表示されません。

撮影設定の変更

撮影するときの設定を変更することができます。

1 モードダイヤルを回して目的のモードの位置にします。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します
（モードによっては使用できない設定もあります）。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして設定をハイライト表示し、
OK ボタンを押します。

4 設定値を選択して OK ボタンを押します。

5 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
カスタム露出モード 任意の撮影モードを選択します （「カスタム」（16 ページ）を参照）。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	P ASM	**プログラム（デフォルト）** CP **絞り優先** CA **シャッター優先** CS **マニュアル** CM カスタム（C）モードでのみ使用可能です。
セルフタイマー セルフタイマーをオンまたはオフにします。 **この設定は、撮影するか、モードダイヤルを回すか、カメラをオフにするまで有効です。**		**オン** **オフ（デフォルト）**

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
画像サイズ 画像の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	★	**5.0 MP（デフォルト）—** 50 × 75cm までのプリントに適しています。最高の解像度が適用され、ファイルサイズは最も大きくなります。 **4.4 MP（3:2）—** 10 × 15 cm の L サイズなど写真サイズのプリントに適した縦横比です。50 × 75 cm までのプリントにも適しています。 **4.0 MP —** 50 × 75 cm までのプリントに適しています。中解像度が適用され、ファイルサイズが小さくなります。 **3.1 MP —** 28 x 36 cm までのプリントに適しています。中解像度が適用され、ファイルサイズが小さくなります。 **1.8 MP —** 10 × 15 cm のプリントに適しています。E メール、インターネット、画面での表示、または保管場所を節約することができます。
圧縮 圧縮設定を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。設定はステータス領域に「S」または「F」で表示されます。**	JPG	**標準**（デフォルト）S **高画質** F **注：**［高画質］設定ではサイズの大きいファイルをレンダリングできます。

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
ホワイトバランス ライティング条件を選択します。 **選択したホワイトバランスが EVF ／ LCD 画面に表示されます。この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（デフォルト）** **—** ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。 **昼光** **—**自然光の画像を撮影します。 白熱灯 **—**屋内の電球のオレンジ色の光を補正します。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **蛍光灯** **—**蛍光灯の緑色の光を補正します。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **日向** — 日陰での撮影に使用します。 オート、シーン、および動画モードでは使用できません。
測光ブラケティング間隔 測光ブラケティング間隔を選択します。 **P、A、S、M、C：この設定は、設定を変更するか、画像を撮影するまで有効です。** **オート、シーン：この設定は、モードダイヤルを回すか、カメラをオフにするまで有効です。**		**+/- 0.3 EV（デフォルト）** **+/- 0.7 EV** **+/-1.0 EV** 「測光ブラケティングの使用」（27 ページ）を参照してください。

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
測光方式 シーンの特定の領域で光のレベルを測定します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。設定が［中央重点測光］または［スポット測光］の場合は、ライブビューの右側に表示されます。**		**マルチ測光（デフォルト）— ** 画像全体のライティング条件を測定し、画像に最適な露出に設定します。一般的な撮影に適しています。 **中央重点測光 —** ビューファインダーの中央に配置された被写体のライティング条件を測定します。逆光を受けている被写体に適しています。 **スポット測光 —** 中央重点測光に似ていますが、ビューファインダーの中央に配置された被写体の小さな領域を中心として測定される点が異なります（測定スポットが円で示されます）。画像内の特定の領域の露出を正確に設定する必要がある場合に適しています。 オート、シーン、および動画モードでは使用できません。
オートフォーカス 大きな領域または密集した領域に焦点を合わせます。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。設定が［センター AF］または［セレクタブル AF］の場合は、ライブビューの右側に表示されます。**		**マルチ AF（デフォルト）—** 3つのゾーンを測定して中間的な焦点を設定します。一般的な撮影に適しています。 **センター AF —** 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。画像内の特定の領域に正確に焦点を合わせる必要がある場合に適しています。 **セレクタブル AF —** フォーカスブラケットを中央、左、または右に動かします。 オート、シーン、および動画モードでは使用できません。

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
AF コントロール オートフォーカス設定を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	AF))	**コンティニュアス AF（デフォルト）**— 外部 AF センサーと TTL（Through The Lens）AF を使用します。カメラの焦点は常に合っているので、シャッターボタンを半分押した状態で焦点を合わせる必要はありません。 **シングル AF** — シャッターボタンを半分押した状態で、外部 AF センサーと TTL-AF を使用します。 **アクセサリレンズ AF** — TTL-AF を使用します。 動画モードでは使用できません。
カラーモード 色調を選択します。 **オートおよびシーンモードの場合、この設定は、モードダイヤルを回すか、カメラをオフにするまで有効です。**	BW	**ヴィヴィッドカラー** **ナチュラルカラー（デフォルト）** **シックカラー** **白黒** **セピア**（赤みがかった茶色のアンティークな雰囲気の画像を撮影します）。 **注：** EasyShare ソフトウェアを使用して、カラーの画像を白黒やセピアに変更することもできます。ただし、白黒またはセピアの画像をカラーに変更することはできません。 動画モードでは使用できません。
シャープネス 画像のシャープネスを制御します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**シャープ** **標準（デフォルト）** **ソフト** オート、シーン、および動画モードでは使用できません。

設定	アイコン	ライブビューに表示されるオプションとアイコン
デフォルトにリセット 撮影の全設定をデフォルトにリセットします。		P、A、S、M、Cモードの設定をデフォルトに**リセット**します。
アルバム設定（静止画） アルバムの名前を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**［オン］**または**［オフ］** 画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。38 ページを参照してください。
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（デフォルト）** — カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー** — カードが挿入されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。
動画撮影時間（動画） デフォルトの動画撮影時間を選択します（セルフタイマーを使用した動画撮影時に便利です）。		**連続（デフォルト）**—カードまたは内蔵メモリーに余裕がある間、あるいはシャッターボタンを押している間撮影されます。**5、15、または 30 秒**を選択します。
設定メニュー その他の設定を選択します。		設定を使用したカメラ設定のカスタマイズを参照してください。

設定を使用したカメラ設定のカスタマイズ

1 任意のモードでMenu（メニュー）ボタンを押します。

2 ジョイスティック▲/▼を動かして［設定］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

3 ジョイスティック▲/▼を動かして［開始］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

4 設定値を選択してOKボタンを押します。

5 終了するにはMenu（メニュー）ボタンを押します。

設定	**アイコン**	**設定値／内容**
前のメニューに戻ります。		
クイックビュー 撮影後に画像または動画（5秒間）を表示します。		**オン（デフォルト）** **オフ**
アドバンスド デジタルズーム 使用するデジタルズームを選択します。		**連続** — 光学ズームからデジタルズームへの移行時に一時停止しません。 **一時停止（デフォルト）** — 10倍光学ズームまで達したらいったんズームボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームが開始されます。 **なし** — デジタルズームは使用できません。
プリント警告		**一時停止（デフォルト）** — デジタルズームの使用中にズームインジケータ上の青色のスライダが一時停止したら、いったんズームレバーを離してもう一度押す必要があります。画質が10 × 15 cmのプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、スライダが赤色に変わります。 **なし** —一時停止しません。

設定	アイコン	設定値／内容
サウンドテーマ		**シャッターのみ** **デフォルト** **クラシック** **ジャズ** **SF**
音量		**オフ** **低（デフォルト）** **中** **シャープ**
モードテキスト モードの切り替え時にモードテキストを表示します。		**オン（デフォルト）** **オフ**
日付／時刻		6 ページを参照してください。
ビデオ出力 カメラ、テレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（デフォルト）—** 北米と日本で使用されます。 **PAL —** ヨーロッパと中国で使用されます。
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。		**オン（デフォルト）** **オフ**
日付写し込み 画像に日付を表示します。		日付写し込みのオン／オフや日付の表示形式を選択します （デフォルトは［オフ］です）。
動画の日付表示		**オン（デフォルト）ー**時刻を表示した（または表示しない）3 種類の日付表示形式から選択します。 **オフ**
言語		使用する言語を選択します （5 ページを参照）。

設定	アイコン	設定値／内容
フォーマット **注意：** **フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が消去されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。**		**メモリーカード —** カードの内容をすべて消去し、カードをフォーマットします。 **やめる —** 変更せずに終了します。 **内蔵メモリー —** Eメールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内蔵メモリーの内容をすべて消去し、内蔵メモリーをフォーマットします。
カメラ情報 カメラの情報を表示します。		カメラの型番やファームウェアの情報が表示されます。

セルフタイマーを使った画像や動画の撮影

セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから10秒後に画像または動画が撮影されます。

1 平らな場所または三脚の上にカメラを置きます。

2 目的の静止画または動画モードを選択します。

3 Menu（メニュー）ボタンを押します。

4 ジョイスティック▲/▼を動かして［セルフタイマー］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

5 ▲を押して［オン］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

6 撮影する構図を決めます。シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点をあわせます。その後で**完全に押し下げ**ます。撮影範囲内に
すばやく移動します。

カメラ前部のセルフタイマーライトが8秒間ゆっくりと点滅し、さらに2秒間すばやく点滅してから撮影／録画されます。

撮影／録画が終わるかまたはモードを変更すると、セルフタイマーがオフになります。

注： デフォルトの動画撮影時間は［連続］です。録画は、シャッターボタンを押すか、保管場所がいっぱいになると停止します。動画撮影時間を変更する方法については34ページを参照してください。

セルフタイマーのカメラ操作音をオフにする方法については、36 ページを参照してください。

アルバム名の事前設定

アルバム設定（静止画または動画）機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

1. コンピュータでの操作

このカメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェア（52 ページを参照）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します（最新の EasyShare ソフトウェアをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください）。次回カメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名をカメラのアルバム名リストにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［アルバム設定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ジョイスティック ▲/▼ を動かしてアルバム名をハイライト表示し、OK ボタンを押します。複数のアルバム名を選択するには、この操作を繰り返します。

   選択したアルバムにはチェックマークが付きます。
4 アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。
5 ［終了］をハイライト表示して OK ボタンを押します。

   選択した内容が保存されます。カメラの液晶画面をオンにしている場合は、アルバムの選択状況が画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。
6 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると（60 ページ参照）、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

撮影のヒント

ズーム

ズーム範囲を拡大するときは、安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用するのが理想的です。



1 倍



10 倍



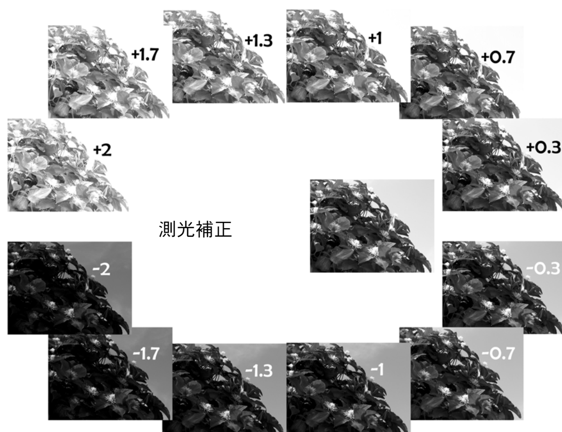
30 倍（デジタル）

f/3.7、1/500 秒で撮影した画像

露出補正

逆光を受けている被写体の露出を調整する場合や、変化する照明のもとで撮影する場合は、露出補正を使用します。

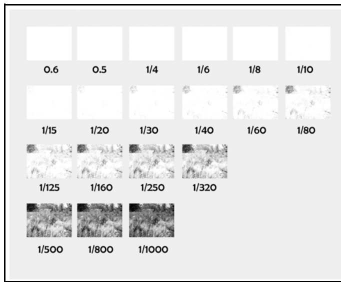
画像が明るすぎる場合は設定値を低く（-)、暗すぎる場合は設定値を高く（+）してください。この機能はジョグダイヤルを使用して表示します（21 ページを参照)。



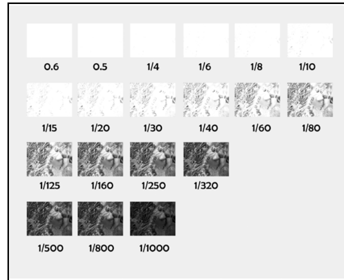
絞りとシャッタースピード（マニュアルモード）

レンズの絞り（F値）とシャッタースピードの組み合わせが最適になるように手動で調整して、独自の設定で露出補正を行うことができます。

f/8などの大きいF値を使用するとフォーカス範囲が広くなります。ただし、動きのある被写体の撮影には、f/2.8などの小さいF値の方が適しています。



広角、f/2.8



10倍ズーム、f/3.6



f/8

注：シャッタースピードによっては表示されていない画像もあります。

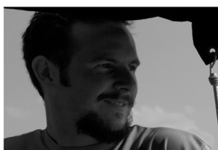
強制発光

このカメラには、一般によく使用される強制発光の機能が備わっています（23 ページを参照）。この機能を晴天でのポートレートの撮影に使用すると、被写体の目、鼻、野球帽のひさしなどの影を消すことができます。また、側面からの光や逆光のもとで、近くの人物や物体の細部を写し出す場合にも効果的です。

必要に応じて、露出補正、フラッシュ補正をジョグダイヤルで調整します（19 ページを参照）。

強制発光オン





強制発光オフ

ポートレートモードで撮影した画像

マクロモードでのマクロ撮影

マクロモード使用中は、カメラに花のアイコン が表示されます。マクロモードを使用すると、非常に近い距離にある被写体をシャープに撮影できます（26 ページを参照）。ズームの位置に応じて撮影距離が自動的に設定されます。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。

望遠マクロを使用すると、花に止まっている蝶や蜂を逃がすことなく、離れた場所から撮影できます。

広角マクロ 12.7 cm





望遠マクロ 76.2 cm

f/5、1/500 秒で撮影した画像

3 画像と動画のレビュー

Review（再生）ボタンを押すと、撮影した画像や動画を表示したり操作することができます。電池を節約するために、オプションのKodak EasyShare カメラドック、プリンタードック、または Kodak 5V AC アダプターを使用してください （www.kodak.co.jp を参照してください）。

1 つの画像や動画の表示

1 Review（再生）ボタンを押します。

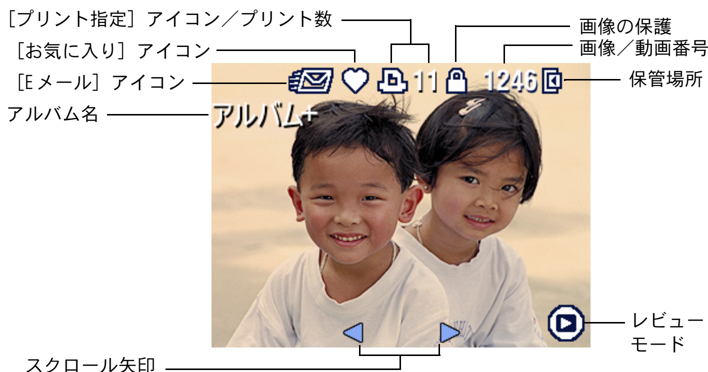
2 画像または動画を前後にスクロールするにはジョイスティック ◀/▶ を動かします （スクロール速度を速くするにはジョイスティック ◀/▶ を動かした状態で維持します）。

3 表示を終了するには Review（再生）ボタンを押します。

注： 4.4 MP（3:2）で撮影された画像は、3:2 の縦横比で表示され、液晶画面の上部に黒いバーが表示されます。

カメラの設定をレビューモードで確認

Review（再生）ボタンを押します。現在の画像や動画の設定が、画面に表示されます。



複数の画像や動画の表示

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ▼ を動かします。

注： Menu（メニュー）ボタンを押してインデックス をハイライト表示し、OK ボタンを押すこともできます。

インデックス表示では、画像と動画のサムネールが最大 9 枚表示されます。

前の行または次の行のサムネールを表示するにはジョイスティック ▲/▼ を動かします。

サムネールを一度に 1 つずつスクロールするにはジョイスティック ◀/▶ を動かします。

選択した画像だけを表示するには OK ボタンを押します。

動画の再生

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ◀/▶ を動かして動画を選択します （インデックス表示では、動画をハイライト表示して OK ボタンを押します。動画がインデックス表示でハイライト表示されている場合は、動画の撮影時間がカメラの液晶画面の上部に表示されます)。

3 動画を再生または一時停止するには OK ボタンを押します。

注： Menu（メニュー）ボタンを押して をハイライト表示し、OK ボタンを押すこともできます。

音量を調整するにはジョイスティック ▲/▼ を動かします。

動画の最初に戻るには、再生中にジョイスティック ◀ を動かします。

動画を再び再生するには OK ボタンを押します。

前後の画像または動画を表示するにはジョイスティック ◀/▶ を動かします。

画像と動画の消去

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像または動画を選択し（インデックス表示されている場合はハイライト表示し）、Delete（削除）ボタンを押します。

3 ジョイスティック▲/▼を動かして次のオプションをハイライト表示し、OKボタンを押します。

[この画像] または [この動画] — 表示されている画像または動画を消去します。

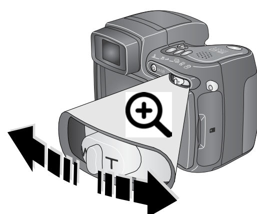
[終了] —[消去] 画面を終了します。

[全て] — 現在の保管場所からすべての画像と動画を消去します。

さらに画像または動画を消去する場合は、手順2に戻ります。

注： この方法では保護された画像と動画を消去することはできません。消去する前に保護を解除してください（47ページを参照）。

画像の拡大



1 Review（再生）ボタンを押します。

2 ズームボタンを押して、画像を1～8倍に拡大します。
画像の各部分を表示するにはジョイスティック▲/▼ ◀/▶を動かします。
元のサイズ（1倍）に戻すには、OKボタンを押します。

拡大を終了するにはOKボタンを押します。

レビューモードを終了するにはReview（再生）ボタンを押します。

レビュー設定の変更

レビューモードでMenu（メニュー）ボタンを押すと、オプションのレビュー設定が表示されます。

	アルバム（48ページ）		コピー（50ページ）
	画像の保護（47ページ）		インデックス（45ページ）
	画像保管場所（34ページ）		画像情報／動画情報（47ページ）
	スライドショー（49ページ）		設定メニュー（35ページ）

画像と動画の保護

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

注： ジョイスティック ▲/▼ を動かして［画像の保護］🔒をハイライト表示し、OKボタンを押します。

画像または動画が保護され、消去できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコン🔒が表示されます。

3 保護を解除するにはOKボタンをもう一度押します。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。



注意：
内蔵メモリーまたはSDまたはMMCカードをフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が消去されます（内蔵メモリーをフォーマットすると、Eメールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも消去されます。それらを復元する方法については、EasyShareソフトウェアのヘルプを参照してください）。

画像情報／動画情報の表示



1 Review（再生）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像／動画をハイライト表示します。

3 ステータス ℹ ボタンを1～2回押して、画像情報／動画情報を確認します。

画像または動画のアルバムの指定

レビューモードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定（タグ付け）することができます。

1. コンピュータでの操作

このカメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェア（52 ページを参照）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します（最新の EasyShare ソフトウェアをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください）。次に、最大 32 個のアルバム名をカメラの内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［アルバム］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 ジョイスティック ▲/▼ を動かしてアルバムをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアルバムに他の画像を追加するには、ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像をスクロールします。追加する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

複数のアルバムに画像を追加するには、各アルバムについて手順 4 を繰り返します。

画像の横にアルバム名が表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムに画像が追加されていることを示します。

アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると（60 ページ参照）、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、画像や動画をカメラの液晶画面に表示できます。テレビまたは他の外部装置でスライドショーを実行する方法については、50 ページを参照してください。電池を節約するために、オプションの Kodak 5V AC アダプターを使用してください (www.kodak.co.jp を参照してください)。

スライドショーの開始

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［スライドショー］を
ハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［開始］をハイライト表示し、
OK ボタンを押します。

各画像と動画は、撮影した順序で 1 回ずつ表示されます。

スライドショーを中止するには OK ボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔のデフォルト設定は 5 秒間です。表示間隔を 3 秒～60 秒に変更することができます。

1 ［スライドショー］メニューでジョイスティック ▲/▼ を動かして
［間隔］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 表示間隔を選択します。

秒数をすばやくスクロールするにはジョイスティック ▲/▼ を動かした状態で維持します。

3 OK ボタンを押します。

間隔の設定は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューでジョイスティック ▲/▼ を動かして
［繰り返し］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［オン］をハイライト表示し、
OK ボタンを押します。

スライドショーは、OK ボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返されます。

画像と動画のテレビでの表示

テレビ、コンピュータのモニター、またはビデオ入力のついた任意の機器に画像と動画を表示することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

注： ［ビデオ出力］の設定（NTSC または PAL）が正しいことを確認します（36 ページを参照）。スライドショーの実行中にケーブルを抜き差しすると、スライドショーが停止します。

1 付属のオーディオ／ビデオケーブルを、カメラのビデオ出力ポートからテレビのビデオ入力ポート（黄色）とオーディオ入力ポート（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

2 画像と動画をテレビに表示します。

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、**コピー元**の場所に設定されていることを確認します。「画像保管場所」（34 ページ）を参照してください。

画像または動画をコピーする方法

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［コピー］▶▶ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かして次のオプションをハイライト表示します。

［この画像］または［この動画］— 現在の画像または動画をコピーします。

［終了］— Review（再生）メニューに戻ります。

［全て］— すべての画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

4 OKボタンを押します。

注： 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像と動画を元の場所から消去するには、それらを消去します（45ページを参照）。

プリント、Eメール、またはお気に入り用に指定したタグや、保護の設定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、47ページを参照してください。

4 ソフトウェアのインストール

コンピュータのシステム必要条件

- Windows 98、98SE、ME、2000 SP1、またはXP
- Internet Explorer 5.01以上
- 233 MHz以上のプロセサー
- Macintosh OS X 10.2.3、10.3
- Safari 1.0以上

ハードウェア必要条件

- 128 MB以上のRAM（Windows 98、98SE、2000 SP1、MEの場合は64 MB以上のRAM）
- 200 MB以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROMドライブ
- USBポート

ソフトウェアのインストール



注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。



1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアを含む）を閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアのインストール

Windows OS — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］ボタンメニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「**d:¥setup.exe**」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Windows OS — すべてのアプリケーションを自動的にインストールする場合は、［完全］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

注： ユーザー登録画面が表示されたら、登録を行ってください。この画面でカメラのユーザー登録もできます。ユーザー登録すると、ソフトウェアのアップグレード情報等が得られます。ユーザー登録を行うには、インターネットに接続されている必要があります。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

5 コンピュータを再起動します。ウイルス対策ソフトウェアをオフにした場合はオンに戻します。詳しくは、ウイルス対策ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

5 画像と動画の共有



画像と動画に「タグを付ける」にはShare（シェア／共有）ボタンを押します。

コンピュータに転送すると、次の方法で共有することができます。

		画像	動画
	プリント（55 ページ）	✔	
	E メール（56 ページ）	✔	✔
	お気に入り（57 ページ） コンピュータ上での整理とカメラでの共有に便利です	✔	✔

注： 共有タグは削除されるまでそのままです。タグ付けされた画像や動画をカメラにコピーしても、共有タグ自体は**コピーされません**（タグ付けされた画像や動画をEasyShareソフトウェアでコピーすると、共有タグもコピーされます）。連写の場合は、最後の画像のみがクイックビュー時にタグ付けされます。

画像や動画にタグ付けできるタイミング

次のタイミングで、Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画にタグを付けます。

- 常時（最後に撮影した画像または動画が表示されます）。
- 画像や動画の撮影直後のクイックビュー時（13 ページを参照）。
- Review（再生）ボタンを押した後（44 ページを参照）。

プリントする画像のタグ付け

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像を選択します。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［プリント］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。*

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かしてプリント数（0 ～ 99）を選択します。0 を選択すると、その画像のタグは削除されます。

画面にプリントアイコンが表示されます。デフォルトは 1 枚です。

4 **オプション：**プリント数を他の画像に適用できます。ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像を選択します。プリント数をそのままにするか、▲/▼ を押して変更します。必要なプリント数が画像に適用されるまでこの手順を繰り返します。

5 OK ボタンを押します。Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

* 保管場所のすべての画像にタグを付けるには、［全てプリント］をハイライト表示して OK ボタンを押してから、前述のようにプリント数を指定します。［全てプリント］はクイックビューでは使用できません。

保管場所内のすべての画像からプリントタグを削除する方法

- ［全て取り消し］をハイライト表示して、OK ボタンを押します。
- ［はい］または［いいえ］を選択して、すべてのプリントを削除します。
- OK ボタンを押します。

［全て取り消し］はクイックビューでは使用できません。

タグ付けされた画像のプリント

タグ付けされた画像をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。コンピュータ、プリンタードック、カードからのプリントについては、60 ページを参照してください。

注： 10 × 15 cm のプリントで最高の画質を得るためには、カメラを［4.4 MP（3:2）］に設定します（30 ページを参照）。

E メールで送信する画像と動画のタグ付け

1. コンピュータでの操作

このカメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータにEメールアドレス帳を作成します （最新の EasyShare ソフトウェアについては、www.kodak.co.jp を参照してください）。次に、最大32個のEメールアドレスをカメラの内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの画像や動画のタグ付け

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。ジョイスティック ◀/▶ を動かして画像や動画を選択します。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして[Eメール]をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

画面にEメールアイコンが表示されます。

3 ジョイスティック ▲/▼ を動かしてEメールアドレスをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアドレスを使用して他の画像や動画にタグを付けるには、ジョイスティック ◀/▶ を動かしてスクロールします。該当する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順3を繰り返します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 選択を解除するには、チェックマークの付いたアドレスをハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのEメールアドレスの選択を解除するには、［指定の取り消し］をハイライト表示します。

5 ジョイスティック ▲/▼ を動かして［終了］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

画面にEメールアイコンが表示されます。

6 Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送およびEメール

タグ付けされた画像や動画をコンピュータに転送すると（60 ページを参照）、Eメール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

お気に入りの画像のタグ付け

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入り♥セクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。

注： カメラからコンピュータに画像を転送する場合、お気に入りを含むすべての画像はフルサイズでコンピュータに保存されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像はカメラに読み込まれ、画像を共有して楽しむことができます。

お気に入りの画像は次の4つの手順で簡単に共有できます。

1. 画像を撮影します。	
2. お気に入りとして画像にタグを付けます。	**1** Share（シェア／共有）ボタンを押します。 ジョイスティック ◀/▶ を動かして 画像を選択します。 **2** ジョイスティック ▲/▼ を動かして[お気に入り]♥をハイライト表示し、OK ボタンを押します。 **画面にお気に入りアイコン♥が表示されます。タグを削除するにはもう一度OKボタンを押します。** Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 画像をコンピュータに転送します。	**1** すべての機能を利用するには、このカメラに付属の Kodak EasyShare ソフトウェアをインストールして使用してください（52 ページを参照）。 **2** USB ケーブル（60 ページを参照）または EasyShare ドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアウィザードが起動され、お気に入りの画像を選択することができます。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。お気に入りの画像が、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**
4. カメラでお気に入りを表示します。	**1** モードダイヤルを回してお気に入り の位置にします。 **2** ジョイスティック ◀/▶ を動かしてお気に入りをスクロールします。 お気に入りモードを終了するには、モードダイヤルを回して他の位置にします。 カードで、またはお気に入り以外の内蔵メモリーで画像や動画を表示するには、Review（再生）ボタンを押します（44 ページを参照）。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入りセクションのサイズをカスタマイズします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

オプション設定

お気に入りモードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、オプション設定が表示されます。

	スライドショー（49 ページ）		すべてのお気に入りを消去（59 ページ）
	インデックス（45 ページ）		設定メニュー（35 ページ）

注： 4.4 MP（3:2）で撮影された画像は、3:2 の縦横比で表示され、液晶画面の上部に黒いバーが表示されます（「画像サイズ」（30 ページ）を参照）。

カメラからのすべてのお気に入りの消去

1 モードダイヤルを回してお気に入り の位置にします。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 をハイライト表示して OK ボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときにカメラに復元されます。お気に入りを 1 つ削除するには、EasyShare ソフトウェアを使用します。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 Kodak EasyShare ソフトウェアを起動します。［マイコレクション］タブをクリックします。

2 アルバムビューに進みます。

3 カメラの［カメラのお気に入りアルバム］をクリックします。

4 ［アルバムの消去］をクリックします。

次回画像をカメラからコンピュータに転送するときは、EasyShare ソフトウェアのカメラのお気に入りウィザード／アシスタントを使用してカメラのお気に入りアルバムを再作成するか、カメラのお気に入り機能をオフにします。

お気に入りのプリントと E メールでの送信

1 モードダイヤルを回してお気に入り の位置にします。◀/▶ を押して画像を選択します。

2 Share（シェア／共有）ボタンを押します。

3 プリント またはE メール をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

注： このカメラで撮影したお気に入りは、10 × 15 cm のプリントに適しています（別のソースから取り込んだものは除く）。

6 画像の転送およびプリント



注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。先にインストールしないと、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

USB ケーブルを使用した画像および動画の転送



1 カメラの電源をオフにします。

2 USB ケーブルの という表示の付いた端をコンピュータの USB ポートに差し込みます。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

3 USB ケーブルのもう一方の端をカメラの USB ポートに差し込みます。

4 カメラの電源をオンにします。

Kodak EasyShare ソフトウェアがコンピュータ上で起動されます。ソフトウェアの指示に従って、転送プロセスを実行します。

注： 接続に関するオンラインチュートリアルについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

転送に使用可能なその他の製品

画像および動画の転送には、次の Kodak 製品も使用できます。

- Kodak EasyShare カメラドック、Kodak EasyShare プリンタードック
- Kodak マルチカードリーダー、Kodak SD マルチメディアカードリーダー／ライター

これらの製品やその他のアクセサリーは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp をご確認ください。

Kodak EasyShare プリンタードックまたはコンピュータを使用したプリント

コンピューター コンピュータを使用したプリントの詳細については、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

プリンタードック— Kodak EasyShareプリンタードックにカメラを装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。これらの製品やその他のアクセサリーは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp をご確認ください。

SD または MMC カードに保存されている画像のプリント

- SD または MMC カードスロット付きのプリンターにカードを挿入して、タグ付けされた画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- SDまたはMMCカード対応のKodak Picture Makerでプリントを作成します（Kodak Picture Maker の取扱店については www.kodak.co.jp を参照してください）。
- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

プリントのオンラインオーダー

Kodak EasyShare プリントサービス（Ofoto 社 www.ofoto.com が提供）は、Kodak EasyShare ソフトウェアで提供されているオンラインプリントサービスの 1 つです。次のような処理を簡単に行うことができます。

- 画像のアップロード
- 画像の編集、拡張、枠の追加
- 画像の保管、家族や友人との共有
- 画像のプリントオーダー

PictBridge 対応プリンターでの ダイレクトプリント

このカメラは PictBridge テクノロジを採用しており、コンピュータを使用せずに PictBridge 対応プリンターでダイレクトプリントを行うことができます。ダイレクトプリントには次のものが必要です。

- フル充電済みのカメラ、または Kodak 5V AC アダプター（別売）に接続したカメラ
- PictBridge 対応プリンター
- カメラ付属の USB ケーブル

プリンターへのカメラの接続

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 オプション：Kodak 5V AC アダプター（別売）を使用する場合は、カメラに接続してから電気コンセントに差し込みます。

重要： Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードックに付属の AC アダプターは使用しないでください。

3 カメラに付属の USB ケーブルを使用して、カメラをプリンターに接続します （詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください）。

画像のプリント

1 プリンターの電源をオンにします。カメラのモードダイヤルを回してオートの位置にします。

PictBridge ロゴが表示された後、現在の画像とメニューが表示されます （画像が見つからない場合はそのことを知らせるメッセージが表示されます）。メニュー表示が消えた場合は、いずれかのボタンを押すと再び表示されます。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かしてプリントオプションを選択し、OK ボタンを押します。

現在の画像	◀/▶ を押して画像を選択します。プリント数を選択します。
指定した画像	お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントする画像をタグ付けして（55 ページを参照）、プリントサイズを選択します。

インデックスプリント	すべての画像のサムネールをプリントします。インデックスプリントには用紙が複数枚必要になります。お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントサイズを選択します。
全ての画像	内蔵メモリー、カード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。プリント数を選択します。
画像保管場所	内蔵メモリー、カード、またはお気に入りにアクセスします。

注： ダイレクトプリントでは、画像はコンピュータまたはプリンターに転送または保存されません。画像をコンピュータに転送する方法については、60 ページを参照してください。モードダイヤルを回してお気に入りの位置にしてある場合は、現在のお気に入り画像が表示されます。

プリンターからのカメラの取り外し

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 カメラとプリンターから USB ケーブルを抜いてください。

7 トラブルシューティング（こんなときは？）

故障かな？と思った場合は、まずここをお読みください。追加の技術情報は、Kodak EasyShare ソフトウェア CD 内の ReadMe ファイルに記載されています。最新のトラブルシューティング情報については、www.kodak.co.jp を参照してください。

カメラに関して

問題の内容	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
カメラの電源がオンにならない	■ 電池を取り外して、電池の種類が正しいことを確認し、再度装着します。 ■ 充電済み電池を装着してください。 ■ カメラを Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードック（別売）に取り付けて、もう一度やり直してみてください。 ■ カメラを Kodak 5V AC アダプター（別売）に接続して、もう一度やり直してみてください。電池について詳しくは 3 ページを参照してください。
カメラの電源がオフにならず、レンズが引っ込まない	
カメラのボタンとコントロールが機能しない	
カメラの電源をオンにしてもレンズが前に出てこない、または引っ込まない	■ カメラの電池が充電されていることを確認してください。 ■ カメラの電源を再度オンまたはオフにしてください。 ■ 問題が解決しない場合は、Web サイトを参照してください（70 ページを参照）。
EVF／LCD 画面が真っ暗になっているかオンにならない	■ レンズキャップを取り外してください。 ■ EVF／LCD 切り替えボタンを押して、画面を切り替えてください。
レビューモードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される	■ 画像をコンピュータに転送してください。 ■ **すべての**画像をコンピュータに転送してください（60 ページを参照）。 ■ もう一度画像を撮影します。問題が解決しない場合は、内蔵メモリーまたはその他のメモリーカードを使用してみてください。

問題の内容	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像を撮影しても残り枚数が減らない	■ そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています。 （カメラでは、各画像の撮影後に、画像サイズと内容に基づいた残りの撮影可能枚数が概算されます。）
画像の向きが正しくない	■ 縦横補正をオンにしてください（36 ページ）。
フラッシュが点灯しない	■ フラッシュユニットを開けてください（22 ページ）。 ■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（22 ページ）。
保管場所がいっぱいに近いかすでにいっぱいになっている	■ 画像をコンピュータに転送してください（60 ページ）。 ■ カードから画像を消去するか、新しいカードを装着してください（7 ページ）。 ■ 画像保管場所を内蔵メモリーに変更してください（34 ページ）。
電池の寿命がすぐに切れる	■ 電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください（76 ページ）。 ■ 充電済み電池を装着してください（2 ページ）。
画像を撮影できない	■ カメラの電源をオフにしてからオンに戻してください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（9 ページ）。 ■ 充電済み電池を装着してください（2 ページ）。 ■ AF／AE インジケータが緑色に変わってから次の写真を撮影してください。 ■ メモリーがいっぱいになった 画像をコンピュータに転送する（60 ページ）、カメラまたはカードから画像を消去する（45 ページ）、画像保管場所を変更する、新しいカードを挿入するのいずれかを実行してください。

問題の内容	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
EVF ／ LCD 画面にエラーメッセージが表示される	■ カメラの電源をオフにしてください。 ■ カメラからメモリーカードを取り外してください。 ■ 電池を取り外し、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください（76 ページ）。 ■ もう一度電池を装着してください。 ■ カメラの電源をオンにします。 ■ その他の故障については、カスタマーサポートに問い合わせてください（71 ページを参照）。
メモリーカードが認識されない、またはメモリーカードを挿入するとカメラがまったく動作しなくなる	■ カードが壊れている可能性があります。カメラに挿入されているカードをフォーマットしてください（7 ページを参照）。 ■ 別のメモリーカードを使用してください。

コンピュータ／接続に関する問題

問題の内容	解決方法 （以下の 1 つまたは複数の方法を試してください）
コンピュータがカメラと通信しない	■ カメラの電源をオンにします。 ■ 充電済み電池を装着してください（2 ページ）。 ■ USB ケーブルがカメラとコンピュータポートにしっかりと接続されていることを確認してください（60 ページ）。 ■ EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（52 ページ）。
画像がコンピュータに転送されない	■ EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定を調節してください（NTSC または PAL、36 ページ）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（装置のユーザーガイドを参照）。

画質に関する問題

問題の内容	**解決方法** **（以下の1つまたは複数の方法を試してください）**
画像が 暗すぎるか、 露出が不足して いる	■ 適度な明るさの場所にカメラを移動してください。 ■ 強制発光（22 ページ）を使用するか、被写体の後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（22 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し下げて撮影します。 ■ P モードを使用して露出補正とフラッシュ補正を調整します（21 ページ）。 ■ P モード（21 ページ）とセレクタブル AF（32 ページの「オートフォーカス」を参照）を使用してください。
画像が明るすぎる	■ 適度な明るさの場所にカメラを移動してください。 ■ フラッシュをオフにしてください（22 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（22 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ P モードを使用して露出補正とフラッシュ補正を調整します（21 ページ）。
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ レンズを拭いてください（76 ページ）。 ■ 被写体から 0.7 m 以上離れている場合は、カメラがマクロモードになっていないことを確認してください。 ■ 特に、ズームを高倍率に設定している場合や光の弱い場所では、安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。

電源リングライトの状態

現象	原因
電源リングが点灯せず、カメラが動作しない	■ カメラの電源をオンにします。 ■ 電池を充電するか、新しい電池を装着してください（3 ページ）。 ■ モードダイヤルをオフにしてからオンに戻してください。
電源リングが緑色で点灯する	■ カメラの電源がオンになっています。いつでも画像または動画を撮影することができます。
電源リングが黄色で点灯する	■ カメラがお気に入りモードになっています。 ■ カメラのファームウェアのアップグレード中です。 ■ カメラがコンピュータに接続され、USB 接続が有効になっています。 ■ レンズの日付と時刻の設定が取り消されました。
電源リング が緑色で点滅する	■ 画像の処理および保存中にカメラの電源がオフになりました。カメラは正常に動作しています。電源がオフになる前に処理を完了しました。 ■ ライトの点滅中にカードを取り出さないでください。 ■ カメラの電源がオンになり、正常に動作しています。ライトの点滅が止まったら、いつでも撮影できます。 ■ カメラはコンピュータに接続中で、正常に動作しています。
電源リング が黄色で点滅する	■ 電池が消耗しているか、切れています。電池を充電してください（2 ページ）。 ■ カメラの内部温度が高すぎます。カメラの電源を数分間オフにしてから、オンにします。同じ現象が繰り返し発生するときは、問い合わせてください（71 ページ）。

ダイレクトプリントに関して

現象	原因	解決方法
目的の画像が見つからない	モードダイヤルがお気に入りに設定されています。	モードダイヤルを回してオートの位置にします。
	カメラがカードまたは内蔵メモリーにアクセスしています。	ダイレクトプリントメニューを使用して、画像保管場所を変更してください。
ダイレクトプリントメニュー表示がオフになる	メニュー表示がタイムアウトしました。	再表示するには任意のボタンを押します。
画像をプリントできない	接続に問題があります。	カメラとプリンターの接続を確認してください（62 ページ）。
	電源に問題があります。	プリンターとカメラの電源を確認してください（62 ページ）。
カメラまたはプリンターにエラーメッセージが表示される	カメラまたはプリンターに問題があります。	指示に従って問題を解決してください。

問題が解決しない場合

www.kodak.co.jp または第 8 章「サポート情報」を参照してください。

ダイレクトプリントに関する問題は、プリンターの製造会社に問い合わせてください。

8 サポート情報

役に立つリンク集

カメラ

製品に関するサポート情報（FAQ やトラブルシューティング情報など）	www.kodak.co.jp
カメラアクセサリーの購入（カメラドック、プリンタードック、レンズ、カードなど）	www.kodak.co.jp
最新のカメラ用ソフトウェアとファームウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp
カメラの使用方法	www.kodak.co.jp

ソフトウェア

Kodak EasyShare ソフトウェアに関する情報	www.kodak.co.jp または EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリック
Windows オペレーティングシステムとデジタル画像処理に関するヘルプ	www.kodak.co.jp

その他

カメラ、ソフトウェア、アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
Kodak EasyShare プリンタードックに関する情報	www.kodak.co.jp
Kodak インクジェット製品に関する情報	www.kodak.co.jp
より本物に近い色を再現するためのプリンターの最適化	www.kodak.co.jp
カメラの登録	www.kodak.co.jp/go/register

電話によるカスタマーサポート

ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、カスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

電話をかける前に

カメラ、カメラドック、またはプリンタードックをコンピュータに接続しておいてください。次の情報を用意して、コンピュータのそばから電話をかけてください。

- コンピュータのモデル
- オペレーティングシステム
- プロセサータイプおよび速度（MHz）
- メモリー容量（MB）
- ハードディスクの空き容量
- カメラのシリアル番号
- Kodak EasyShare ソフトウェアのバージョン
- 表示されたエラーメッセージ

アイルランド	01 407 3054	中国	800 820 6027
イタリア	02 696 33452	デンマーク	3 848 71 30
インド	91 22 617 5823	ドイツ	069 5007 0035
インドネシア	001 803 631 0010	日本	03 5540 9002
英国	0870 243 0270	ニュージーランド	0800 440 786
オーストラリア	1800 147 701	ノルウェー	23 16 21 33
オーストリア	0179 567 357	フィリピン／マニラ中心部のみ	1 800 1 888 9600 632 6369600
オランダ	020 346 9372	フィンランド	0800 1 17056
カナダ	1 800 465 6325	フランス	01 55 1740 77
韓国	00798 631 0024	ブラジル	0800 150000
ギリシア	00800 441 25605	ベルギー	02 713 14 45
シンガポール	800 6363 036	ポルトガル	021 415 4125
スウェーデン	08 587 704 21	香港	800 901 514
スイス	01 838 53 51	米国	1 800 235 6325
スペイン	91 749 76 53	米国以外の地域	585 726 7260
タイ	001 800 631 0017	国際有料電話番号	+44 131 458 6714
台湾	0800 096 868	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962

最新の一覧については次のサイトをご覧ください。
http://www.kodak.com/US/en/digital/contacts/DAIInternationalContacts.shtml

9 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare DX7590 ズームデジタルカメラ	
CCD（電荷結合素子）	
CCD	1/2.5 インチ CCD、縦横比 4:3
出力画像サイズ（画像サイズ）	2576 × 1932（5.0 M）画素 2576 × 1716（4.4 M）画素 2304 × 1728（4.0 M）画素 2048 × 1536（3.1 M）画素 1552 × 1164（1.8 M）画素
表示	
カラー液晶	ハイブリッド高解像度ディスプレイ 55.9 mm 640 × 240（153 K）画素
カラービューファインダー−電子式（EVF）	LCD と EVF を同時に使用することはできません。 6.5 mm（311k）画素
プレビュー（LCD ／ EVF）	フレーム速度：30 fps
レンズ	
撮影レンズ	10 倍光学ズームレンズ、f/2.8 〜 f/3.7、 38 〜 380 mm（35 mm 換算）
フォーカスシステム	ハイブリッド AF 外部受動センサー、マルチ AF、センター AF、セレクタブル AF コンティニュアス AF（動画モードおよびプレビューモード） 操作範囲： 広角標準：0.6 m 〜無限遠 望遠標準：2.0 m 〜無限遠 広角マクロ：0.12 〜 0.7 m 望遠マクロ：1.2 〜 2.1 m 広角および無限遠望遠：20 m 〜無限遠

Kodak EasyShare DX7590 ズームデジタルカメラ	
デジタルズーム	3.0 倍連続アドバンスドズーム、光学 10 倍ズームから 0.2 倍きざみで拡大（LCD 表示モード）
光学ズーム	10 倍、38 ～ 380 mm（35 mm 換算）、 F= 6.32 ～ 63.2 mm 実際
アクセサリレンズの溝	あり（レンズリング内）
レンズカバー	レンズキャップ
測光	
測光方式	TTL-AE（プログラムモード搭載） マルチ測光 AE、中央重点測光 AE、スポット測光 AE
測光範囲	AE 範囲：EV 5.3 ～ 16.0（広角の場合） フル範囲：EV 0 ～ 16.0（広角の場合）
露出モード	プログラム済み AE モード：オート、P、A、S、M、C、シーン 絞り優先 AE：f/2.8 ～ f/8（広角の場合） シャッター優先 AE：16 ～ 1/1000 秒 （広角の場合） フルマニュアル露出（ノイズ軽減：0.7 秒を超える場合に黒い画像の発生を軽減します） 露出補正：± 2.0 EV（1/3 EV ステップ）
シャッタースピード	CCD 電子シャッター付きの機械的シャッター オートの場合 16 ～ 1/1700 秒、マニュアルの場合 16 ～ 1/1000 秒
ISO スピード	オート：80、100、200、400、800（800 は 1.8MP 画像サイズの場合） マニュアル設定：P、A、S、M、C モード
フラッシュ	
電子フラッシュ	ガイド番号 12（ISO 140 の場合）、フォトセンサーを使用したオート発光 操作範囲：広角：0.6 ～ 4.9 m（ISO 140） 望遠：2.0 ～ 3.7 m（ISO 140）
フラッシュモード	オート発光、強制発光、赤目軽減、オフ

Kodak EasyShare DX7590 ズームデジタルカメラ	
外部フラッシュシンクロ	あり、最大許容電圧 500V
撮影	
撮影モード	オート、プログラム、絞り優先、シャッター優先、マニュアル、カスタム、スポーツ、ポートレート、シーン（14）、連写、動画
ジョグダイヤル	露出補正、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、ISO、フラッシュ補正、フルマニュアル露出の調整に使用します。
連写モード	連写（最初）：5 枚、連写（最後）：4 枚、いずれも 2.0 fps（最初の撮影でのみ AE、AF、AWB を実行）
静止画像バッファ	32 MB 内蔵メモリー
動画撮影	画像／フレームサイズ：VGA（640 × 480）、12 fps QVGA（320 × 240）、20 fps
画像のファイルフォーマット	静止画：EXIF 2.2（JPEG 圧縮）、ファイル構成 DCF 動画：QuickTime（CODEC MPEG4）
記録媒体	MMC または SD カード（別売） SD (SD ロゴは、SD Card Association の商標です)。
内蔵メモリー容量	32 MB 内蔵メモリー
レビュー	
クイックビュー	あり
動画出力	NTSC または PAL
電源	
Kodak EasyShare リチウムイオン充電式電池（KLIC-5001）、オプションの 5V AC アダプター	
コンピュータとの通信	
USB（USB ケーブル、EasyShare カメラドック、プリンタードック経由）	
言語	
英語／ドイツ語／スペイン語／フランス語／イタリア語／ポルトガル語／中国語（簡体）／韓国語／日本語	

Kodak EasyShare DX7590 ズームデジタルカメラ	
その他の機能	
セルフタイマー	10 秒
サウンド フィードバック	電源オン、シャッター、セルフタイマー、エラー、サウンドモード
ホワイト バランス	自動、昼光、白熱灯、蛍光灯、日向
自動スリープ モード	あり 8 分
カラーモード	ヴィヴィッドカラー、ナチュラルカラー、シックカラー、白黒、セピア
シャープネス	シャープ、標準、ソフト
日付写し込み	なし、YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY
三脚マウント	1/4 インチ金属製
サイズ	99.6 mm × 81.2 mm × 79.9 mm
重さ	350 g（電池およびカードを装着していない場合）

ヒント、安全、メンテナンス

- 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、バッテリーとカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。
- レンズまたはカメラの液晶画面の埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ専用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
- 電気モーターなどの機器の近くにカメラを置かないでください。電磁誘導が画像の破損やカメラの誤動作を引き起こすことがあります。
- 急激な温度の変化によって有害な結露が発生することがあります。カメラは密閉できるビニール袋に入れて保管し、袋から出す前に使用環境の温度になじませてください。
- 国によってはサービス契約があります。詳しくは、Kodak 製品取扱店に問い合わせてください。
- 充電池を廃棄する方法については、Rechargeable Battery Recycling Corporation の Web サイト（www.rbrc.com）を参照してください。
- デジタルカメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。米国内の場合は、Electronics Industry Alliance の Web サイト（www.eiae.org）または Kodak の Web サイト（www.kodak.co.jp）を参照してください。

保管容量

ファイルのサイズは、画像の内容と露出によって異なります。またはカードに他のファイルが含まれているかによって変わります。お気に入りを設定すると、内蔵メモリーの容量をさらに使用することになるので、保管可能容量が少なくなります。

画像保管容量－標準圧縮

	保管可能枚数				
	5.0 MP	4.4 MP（3:2）	4.0 MP	3.1 MP	1.8 MP
16 MB SD/MMC	9	11	12	15	24
32 MB 内蔵メモリー	17	19	21	27	43
32 MB SD/MMC	19	22	24	30	48
64 MB SD/MMC	39	44	49	60	97
128 MB SD/MMC	79	89	98	121	195
256 MB SD/MMC	159	178	196	242	391
512 MB SD/MMC	319	356	392	485	783

画像保管容量－高画質圧縮

	保管可能枚数				
	5.0 MP	4.4 MP（3:2）	4.0 MP	3.1 MP	1.8 MP
16 MB SD/MMC	4	5	5	7	12
32 MB 内蔵メモリー	8	9	10	12	21
32 MB SD/MMC	9	10	11	14	24
64 MB SD/MMC	18	20	23	28	48
128 MB SD/MMC	37	41	46	57	97
256 MB SD/MMC	74	83	92	115	194
512 MB SD/MMC	149	167	185	231	389

動画保管容量

	動画の分数／秒数	
	VGA（640 × 480）	QVGA（320 × 240）
16 MB SD/MMC	59 秒	1 分 53 秒
32 MB 内蔵メモリー	1 分 47 秒	3 分 23 秒
32 MB SD/MMC	1 分 52 秒	3 分 46 秒
64 MB SD/MMC	3 分 59 秒	7 分 32 秒
128 MB SD/MMC	7 分 59 秒	15 分 4 秒
256 MB SD/MMC	15 分 58 秒	30 分 8 秒
512 MB SD/MMC	31 分 57 秒	60 分 17 秒

節電機能

操作しない時間	カメラの動作	オンに戻す方法
1 分	EVF ／ LCD 画面がオフになります。	OK ボタンを押します。
8 分	自動的に電源がオフになります。	任意のボタンを押します。またはカードを挿入するか取り出します。

アクセサリー

アイテム	説明	取扱店
Schneider-Kreuznach Xenar 0.7 倍広角レンズ	汎用性の高い 0.7 倍広角レンズを使用することによって、創造性と撮影の幅が広がります。	www.kodak.co.jp
Kodak DX6490 ／ DX7590 レンズアダプター	市販の 55 mm 用レンズやフィルターを装着できます。	
レンズフィルター（白黒）	ND フィルター 102 は、光量を 2F ストップ減少させます（透過濃度 0.6）。フィルター径 55 mm。	
	PL フィルター（フィルター径 55 mm）	
Kodak 5V AC アダプター	電池の寿命を延ばします。画像の確認やダウンロード中に、カメラに差し込んで使用します。	
Kodak 高性能シリーズデジタルカメラケース	おしゃれで丈夫な Kodak EasyShare シリーズデジタルカメラ専用ケースです。	
Kodak EashyShare リチウムイオン充電式電池－ 1700 mAh	この高容量の電池は最高 300 回まで充電でき、1 回の充電は 3 時間以内に完了します。	
KODAK リチウムイオンスピード充電器キット	世界各地で使用可能な 110 ～ 240V 対応の 6 種類のプラグを装備。電池は別売です。	
アクセサリーの全リスト（電池および充電器、メモリーカード、三脚、カメラケース、携帯キット、カートリッジおよび画像用紙キット、カメラドック、プリンタードック、レンズなど）については、Kodak の Web サイトを確認してください。		

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア（カメラ上で実行されているソフトウェア）の最新バージョンをダウンロードしてください。www.kodak.co.jp を参照してください。

規格との適合

FCC 準拠および勧告



Kodak EasyShare DX7590 ズームデジタルカメラ

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます）、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラスB準拠 — このクラスBデジタル装置は、カナダのICES-003に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電場障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

索引